

緑地雑草科学講演会のご案内

里山の植生管理とネイチャーポジティブ

講師：楠本良延氏（農研機構・西日本農業研究センター・グループ長補佐）

日時：2026年3月18日（水） 15時～16時30分
場所：兵庫県中央労働センター（対面/zoomハイブリッド開催）
申込：メール申込（k-saji@bousou-ken.orgまで）
その他：参加無料、申込期限 3月12日（木）

<要旨>

現在、農業・農村が育む生物多様性に注目が集まっています。里山は生物多様性の温存地として重要視され、様々な生物相のモニタリングや保全事業が実施されるに至っています。また、地域振興のため、生物多様性や生態系サービスが活用されることも少なくはなく、生物多様性の評価や地域が有する自然資源活用への期待も大きくなりつつあります。例えば、日本型環境直接支払い制度の設計や日本・世界農業遺産地域の認定では、生物多様性の保全や生態系サービスの向上への取り組みが社会的に評価される時代に突入しています。世界的に見ても SDGs などに代表される地球環境の保全と利用のバランス、そして、自然との共存が実現できる持続的な社会の構築が大きな流れになってきています。

そのような中、里山の植生管理の在り方が重要な課題です。かつての里山環境は物質循環をはじめ持続可能な地域システムを構築していました。エネルギー革命後、里山のシステムが崩壊し、さまざまな問題が顕在化しています。近年のクマ、イノシシ、シカなどの獣害被害もその顕在化の一端でしょう。とはいえ、昔の里山システムに戻ることはできません。本講演では、かつての里山環境にヒントを得ながら、現在の里山における植生管理の在り方について、生物多様性の高い二次草地を形成している茶草場、ヴィンヤード、畦畔のり面などの研究を紹介しながら、生物多様性の視点から持続的な植生管理について議論したいと考えています。また、それらの結果を活用した地域振興やネイチャーポジティブについても報告します。



里山の半自然草地として機能するヴィンヤード
2023. 7. 22 撮影（城の平ヴィンヤード）

講師プロフィール：横浜国立大学大学院
博士課程後期修了（学術博士）
専門は植生学・景観生態学、2004年に農
研機構採用、2023年から現職、農業生態
系における生物多様性の評価・解明がメ
インの研究テーマ、世界農業遺産、外来
生物、生物多様性などに関する国の委員
を歴任。食料生産と生物多様性の両立が
ライフワーク。

緑地雑草科学講演会参加申込書（対面／Zoom ハイブリッド開催）

1. 講演会概要

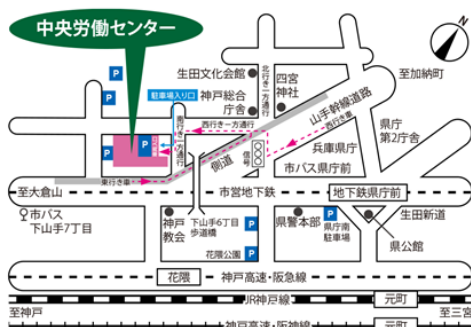
講演会名：里山の植生管理とネイチャーポジティブ

開催日時：2026年3月18日（水）15：00～16：30

開催形式：対面・Zoom（ハイブリッド形式）参加費無料

申込締切：2026年3月12日（木）18：00

申込方法：メール申込（宛先：k-saji@bousou-ken.org）



会場（対面参加）：

兵庫県中央労働センター 小ホール

〒650-0011

兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号

<https://hyogo-churou.com/about/>

2. 参加者情報

会社名（所属）： _____

部署・役職： _____

氏名： _____

ふりがな： _____

メールアドレス： _____

電話番号（※）： _____

※当日緊急時に連絡する場合があります

3. 参加方法（いずれかにチェック☑）

対面参加（会場に来場）

Zoom参加（オンライン）

※Zoom参加の方には、開催前日までに参加URLをメールにてお送りします。